

野のゆり

平成 28 年
3 月 発行

新年会



2016 新年会

2016年1月1日に今年も平成のぞみの会の皆様に来ていただき、新年1発目のイベントである『新年会』が開催されました。

唄や踊りや手品といろいろな演目を披露していただき、笑いあり、驚きあり、涙は・・・無いですが最後は全員入り乱れての踊りがありいつも以上に盛り上がり皆様に楽しんでいただけたいと思います。

また、誕生会も一緒に開催されお二方にとっても思い出深い誕生会だったのではないのでしょうか。

この勢いで今年1年も笑いの絶えない年でありますようにと願っております。

(新年会委員 石綿 紀一)

練馬キングス・ガーデン

練馬区早宮二丁目二十二

電話 〇三(五三九九)二二〇一

発行人 中島 真樹

クリスマス会

昨年の12月23日に毎年恒例のクリスマス会がありました。今年も多くのご家族が参加して下さい、皆さん笑顔で過ごされ賑やかな日となりました。

職員がサンタの格好をしてささやかですがプレゼントを配り、皆でケーキと紅茶をいただきました。また今年は音楽療法の先生方による歌と演奏もあつたことでより盛り上がったクリスマス会になったと思います。皆で歌い楽しんだクリスマス会はあつという間に終わってしまいました。

大人になってもサンタからプレゼントをもらい喜んでいらっしゃる皆さんを見てなんだか私まで嬉しい気持ちになりました。

(クリスマス会委員 中澤)



わたしがあなたがたを愛したように、

互いに愛し合いなさい。

(ヨハネ 15章 12節)

「孤独を超えて、生と死に向き合う」

施設長 中島真樹

3月初旬、オランダから視察の方々が来訪されました。とても熱心な方々で、認知症の方へのケア、人生の最期のターミナルケア、財政面や人材確保など、幅広い範囲に及ぶ質問をたくさんいただきました。練馬キングス・ガーデンでは、最期の時までお一人おひとりが大切にされるケアを心がけているとお伝えしました。特に亡くなられた後、正面玄関から皆でお送りすることに大変驚かされており、ぜひ母国に持ち帰りケアのモデルとして報告したいとのことでした。

最期の時をどのように過ごすかは違って良いと思いますが、なるべくそれぞれの価値観や想いが尊重され、その方らしく「生きていて良かった」と喜び合える最期を過ごしていただきたいと願っています。

また、残るご家族や関わりが深かった私たち職員にとっても、続いて生きていく励ましとなる最期を望んでいます。



今、日本は大きな過渡期に差しかけています。これまではほとんどの方が最期を病院で迎えていましたが、最近は住み慣れた自宅や施設で最期を迎えるという方が増えているように思います。練馬キングス・ガーデンでもほぼ9割の方が穏やかに眠るような最期を迎えています。日野原重明先生は「人間は生きた時間の長さではなく、生きた中身の濃さが大切」と述べていらつしやいます。私たちはこの6月に、「生と死」をテーマにシンポジウムを開催します。関心のある方はどなたでも無料で参加できます。お誘いあわせの上、ぜひ、ご参加ください。お待ちしております。

サポートネットワーク 第2回シンポジウム
「生きる意味」を考える
孤独を超えて、生と死に向き合う

参加無料

15:30-16:30
【基調講演】 堀 肇 氏

17:00-18:00
【パネルディスカッション】

18:00-19:00
【交流会】

2016年 6月18日(土) 10:30-17:00

入場料 200円 会場 秋葉原光教会

www.kg-daily.co.jp

釜井様 お孫様の結婚式に出席

昨年12月、お孫様の結婚式に車椅子で参加されました。体調に波のある釜井様は、当日は眠気が強くなると懸念されましたが、食事もほぼ自己摂取され、お孫様のドレス姿を見て涙ぐまれるなど覚醒され続けていました。普段の姿を知る者としては奇跡に近いと思います。

施設の日常から離れ、ご家族に囲まれ、現役時代に戻られた様子でした。施設に入ったらもう終わりというのはいもう古い！ということを釜井様とご家族が教えて下さりました。
(居室担当 江口)



この度は、1月に逝去された大畑廣正様の娘様に、キングス・ガーデンでの看取りについてお話し頂きました。

看取りを終えて思う事

大畑廣正の娘 原美智子

まずは、中島施設長をはじめとしたスタッフの方に感謝申し上げます。

この数年、刻々と変化する父親に対し、今の私は何が出来るのか、自問自答の日々でした。そして、私に出来る事は全て済ますことが出来ました。

光が丘病院に緊急搬送されてその後、医師のアドバイスもあり、母親が待っている、キングス・ガーデンに戻りました。

父親は、母親の顔を見たとき、びくびくと顔をうごかし母親との再会の喜びを表現しているかのよう私には見えませんでした。

その後、常に母親は、数日間手を握り、時にはほっぺたをくっつけて過ぎていました。母親の元で深い愛情に包まれ生き抜く事が出来、父

親は本当に幸せ者だと思慮致しません。母親、主人、私の三人に看取られながら安らかに息を引き取りました。

私も天国へ行く父親の姿をしつかり目に焼き付け、見送る事が出来ました。酒好きだった父親の為だけに酒風呂に入れてもらったり、お酒で口を潤ませてマグロのお刺身を酒のつまみにと出してもらったり、父親の好きな事をすべてして頂きました。

施設の方の愛情あふれる心遣いや心温まる言葉かけが、私たちの家族の心をどれだけ癒してもらえた事でしょう。

家でも病院でも出来ない事の数々をして頂き、本当に「キングス・ガーデンで良かった」と、思っており感謝に堪えません。

本当にありがとうございます。



☆☆☆今後の予定☆☆☆

▽運動会 平成28年6月頃

※今春は、都合によりお花見を企画する事が出来ませんでした。ご家族様のご都合の良い時に、ぜひ外出の機会を設けていただけると感謝です。

☆☆☆ 医務室より ☆☆☆

暖冬と言われた今年の冬も、早咲きの桜が咲き始め、春の便りが届くまで、あともう一息ですね。畑の多い、ここ練馬でもふきのとうが目覚まし、若草色が眩しいです。春と聞けば花粉症も忍び寄ってきています。既にアレルギーの薬を飲み始めた方もいらっしゃることでしよう。これからの季節はインフルエンザのような感染症と花粉症が重なり、症状が酷くなることも珍しくありません。さわやかな春を迎えられますように願っております。

《編集後記》

一年間の行事や外出を通し、ご利用者の輝く瞬間をお伝えできたでしょうか？27年度はご家族にも原稿の執筆をご協力いただきました。(原口・吉川)